

平成24年度 第9回福島県環境影響評価審査会議事概要

1 日 時

平成25年3月19日（火） 午後3時00分開会 午後3時30分閉会

2 場 所

杉妻会館3階 石楠花

3 議 事

- (1) 平太郎処分場増設計画に係る環境影響評価準備書について
- (2) その他

4 出席者等

- (1) 環境影響評価審査会 6名
- (2) 事務局 5名
- (3) 傍聴者 4名

5 議事概要（「平太郎処分場増設計画に係る環境影響評価準備書について」の該当部分のみ記載）

事務局から、審査会委員や庁内関係各課からの意見を踏まえて作成した知事意見案について資料に基づき説明し、知事意見案については了承された。

質疑応答の要旨については、以下のとおり。

【議長】

準備書の水質の評価に関してだが、p6-5-9 に放流水質基準と放流水の水質調査結果が記載されているが、水質基準よりも放流水質が非常に低い値となっており、処理施設が適正に稼働していることがわかる。p6-5-11 には、浸出水（処理する前）のデータが記載されており、これが処理されて p6-5-9 の放流水となる。

知事意見案の中に塩化物イオンに関する記載があるが、塩化物イオンについては特に基準はないのではないかと。

【事務局】

基準はないが、農業用水として使用される場合、塩化物イオン濃度が高いと生育障害がおこるので、できるだけ低減してほしいという趣旨の意見だ。

【議長】

先ほど事務局が説明した資料の中で、「放流水の塩化物イオン濃度は、3,000mg/l 程度で、海水の 1/10 程度となる」との事業者見解が記載されていたが、これはサリニティ（塩分）の誤りではないのか。海水の塩化物イオン濃度は平均的に 19,300mg/l なので、ここに記載されているデータはサリニティのデータではないかと思われる。サリニティと塩化物イオンは違う。

【委員】

たしかに塩化物イオン濃度が 3,000mg/l だとすると、海水の 1/10 にはならない。3,000 mg/l という数値が塩分（サリニティ）だったら海水の 1/10 と言えるだろう。

【議長】

準備書の p6-5-16 の現地調査結果に放流水の塩化物イオンが平均 3,000 mg/l 程度で、河川における濃度が、200 から 300mg/l 程度となっている。自然水で 10 倍希釈されるというのが環境基準の趣旨であることから、排水基準は環境基準の 10 倍となっているので、今回の結果については許容範囲と言える。

【事務局】

3,000 mg/l 程度というのが、塩化物イオン濃度の値なのか塩分濃度の値なのかを整理したうえで、事業者にはきちんと評価をしてもらうこととしたい。

【議長】

水質については、正しい表記としてほしい。